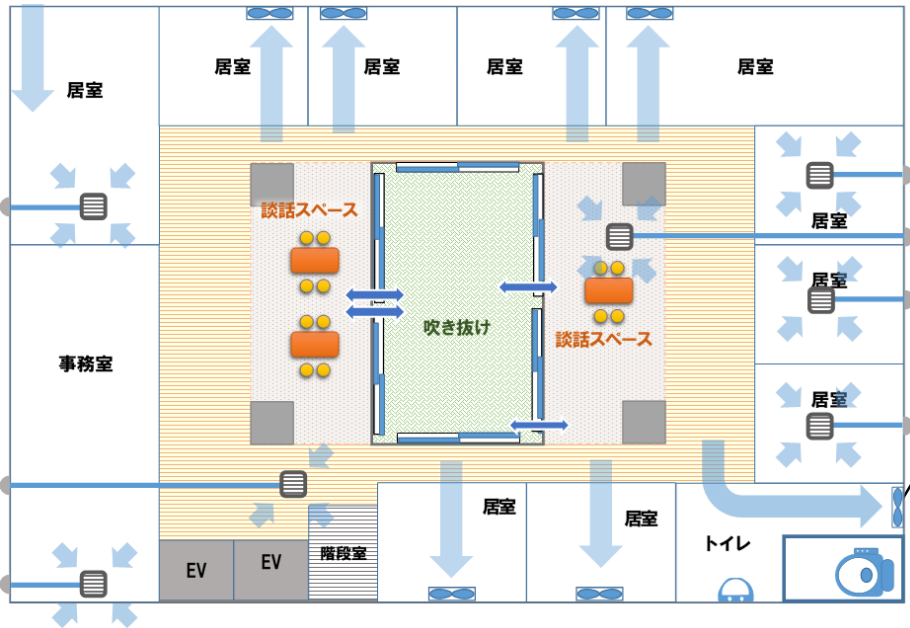


# 新型コロナウイルス感染症における感染防止対策 ～社会福祉施設向け（換気・消毒編）～

新型コロナウイルスの主要な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。  
ここでは、普段の施設内における衛生管理として、  
実践していただきたい飛沫感染を防ぐための換気の方法と、接触感染を防ぐための消毒の方法について、ご紹介します。



# ● 換気



**チェック②**  
換気扇

**チェック②**  
換気口

~~換気~~  
室温調整のみ



**チェック②**  
換気排気口

**チェック①**

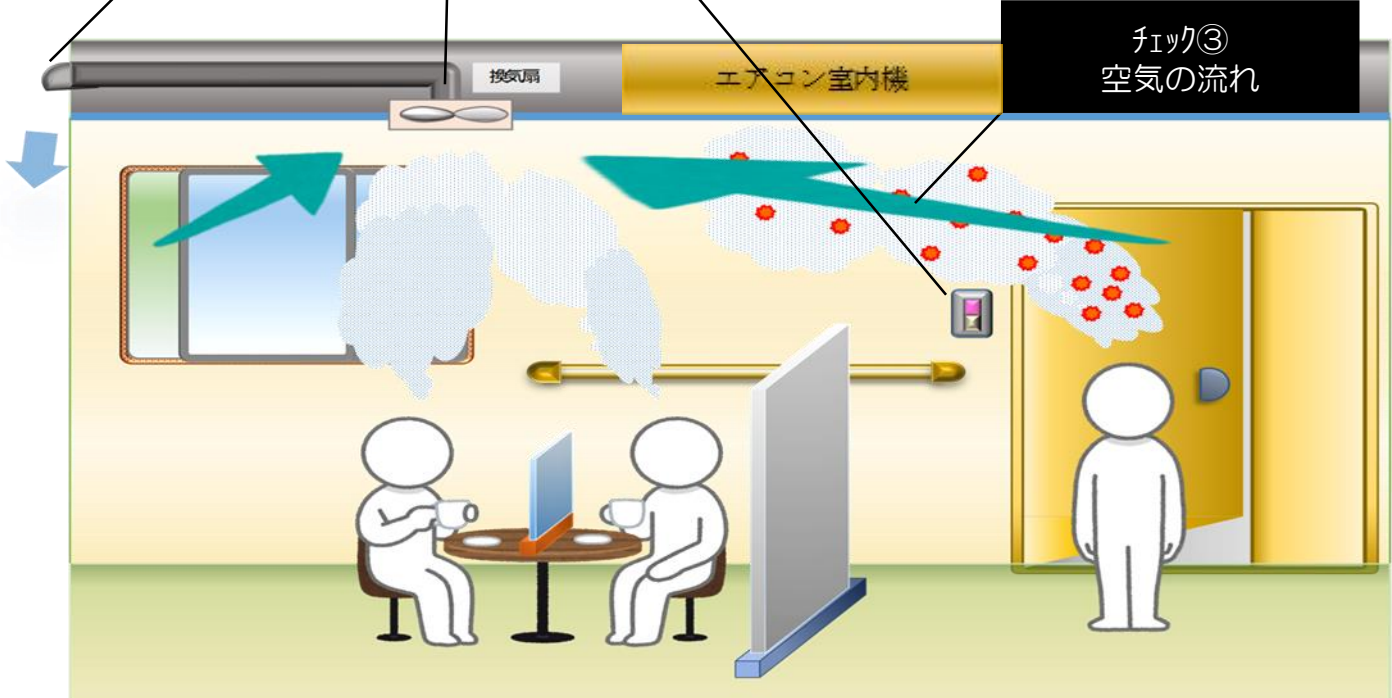
換気スイッチ ↓      エアコンスイッチ ↓

**換気のポイント**

チェック① 空気の流れをつくる  
(換気スイッチをONにする)

チェック② 換気の運転状況を音や風により確認するとともに、埃等目詰まりがあれば掃除する

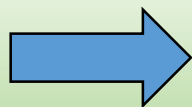
チェック③ 空気の流れが、アクリル板、パーテーション等妨げになっていないか確認する



## チェック項目（基本的な換気の実践事項）

### 【基本的な換気の実践事項】

- 居室に人がいる間は、換気扇のスイッチをONにして、空気の流れをつくりましょう
- 在室者数に応じて、風量の強・弱を切り替えながら、換気量を調整しましょう
- 在室者が多い場合は、30分に1回数分程度、窓を全開に換気するとより効果的です
- 窓は二方向（対角線）の窓を開放させ、窓が1つしかない場合は、窓とドア等を開けましょう
- 換気設備を運転するとともに、エアコン等により適正な室温管理をしましょう
- 定期的に換気フィルターを清掃し、目詰まりしないよう注意しましょう



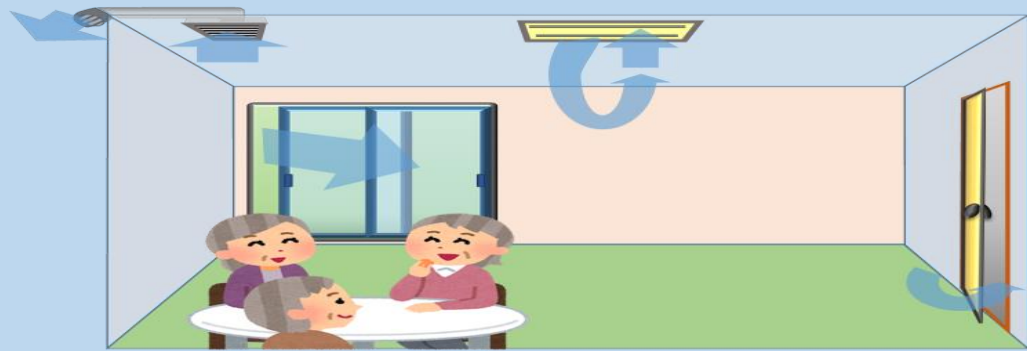
- ①スイッチONの確認
- ②強弱運転の確認

## チェック項目（さらに良い換気とするための実践事項）

夏

～熱中症予防を意識した換気をしましょう～

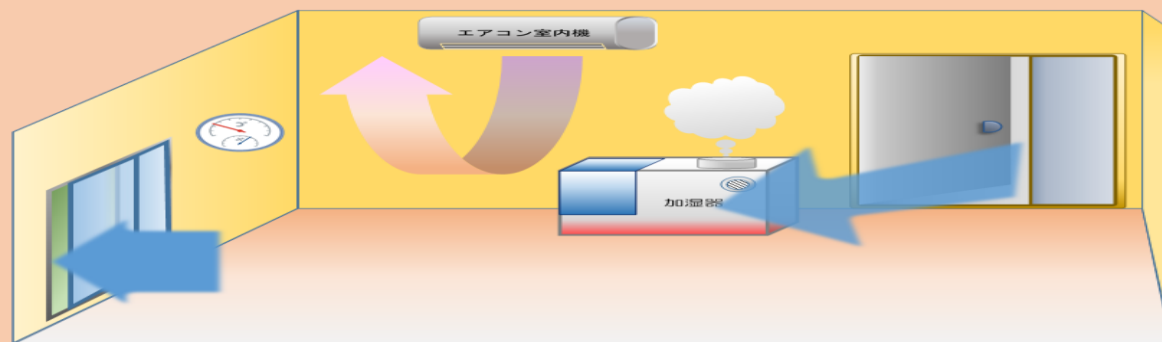
- エアコンの温度設定を下げるなど調整をして、室温管理を優先しながら換気扇を運転して換気しましょう
- 熱交換器付き換気設備がある場合は、最大限活用しましょう
- 外気温の低い朝や夕方以降は、窓開けによる換気を積極的に取り入れましょう



冬

～室温の急激な上下動を抑えるとともに、乾燥を防ぐ換気をしましょう～

- 居室の温度は18℃以上かつ相対湿度40%以上にするよう、暖房器具と加湿器を使用しましょう
- 室温の急激な上下動を防ぐため、短時間に窓を全開にする自然換気よりも、常時一方向の窓を少しだけ開け、換気扇を運転しましょう
- 人がいない部屋の窓を開け、廊下を經由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を居室に取り入れるなど、室温変化を抑える工夫をしましょう



# ● 消毒

チェック 

エレベーターボタン



チェック 

テレビのリモコン



チェック 

手すり



チェック 

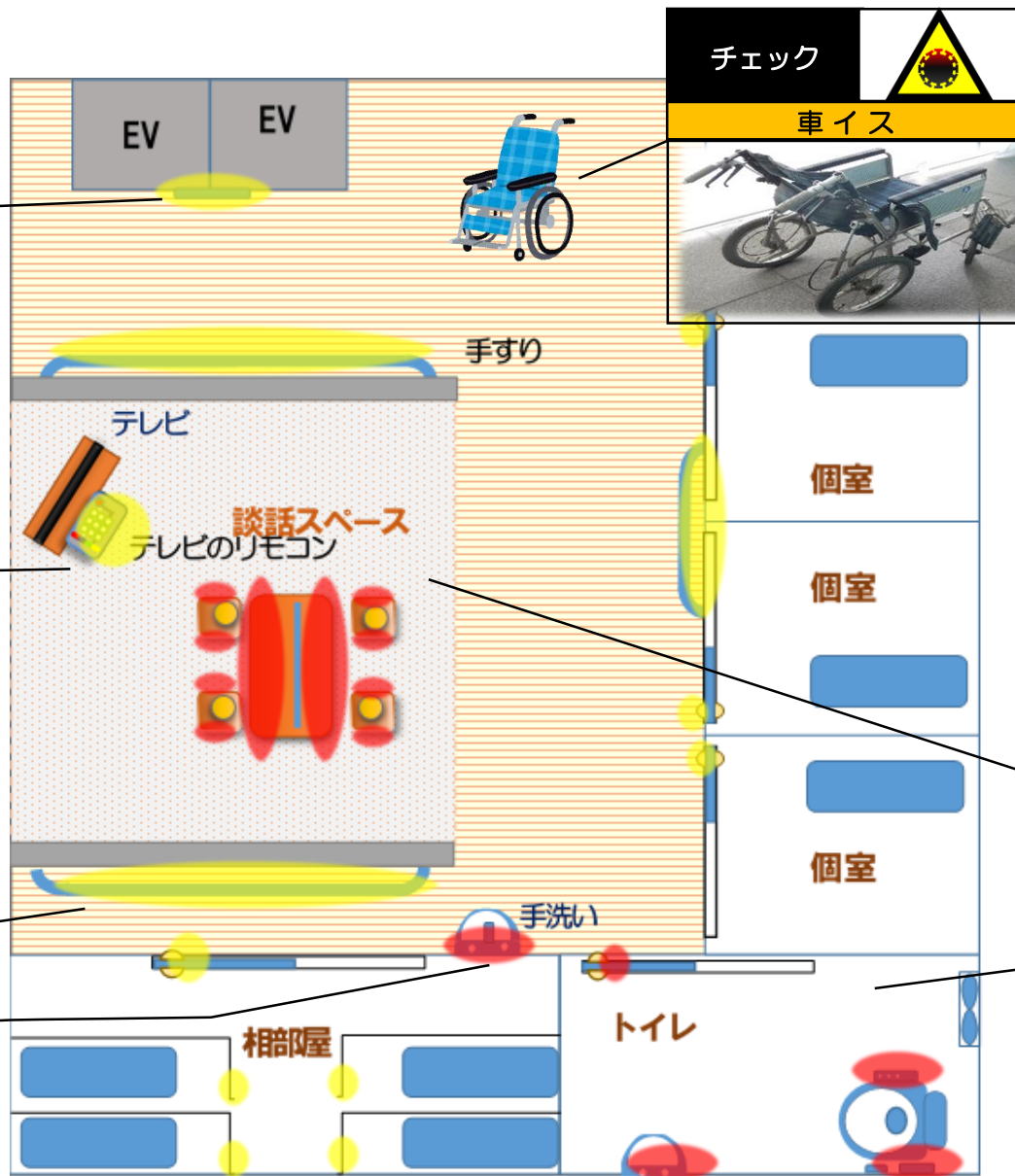
洗面台の蛇口



チェック 

相部屋

- ・ベッドのカーテン
- ・ドアノブ

チェック 

車イス



チェック 

談話室内



- ・テーブルの縁
- ・ひじかけ
- ・アクリル板
- ・スイッチ類



チェック 

トイレ内



手すり、洗面台蛇口  
便座周辺、ドアノブ

汚染度

-  高い
-  特に高い

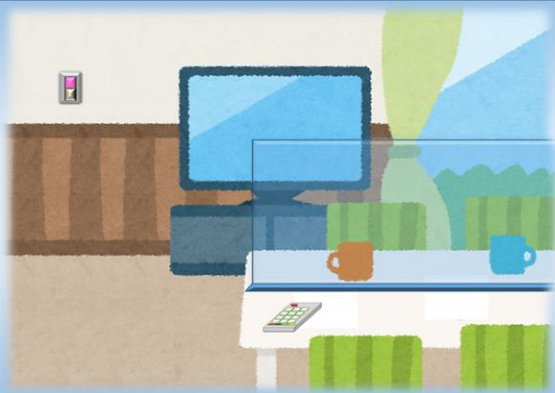
## チェック項目（トイレの消毒）

☆清拭消毒: 消毒用エタノールで湿らせたペーパータオルや使い捨ての布片で拭いて消毒する方法です



- 手指がよく触れる箇所(温水洗浄便座、流水レバー、手すり等)は、使用の都度、清拭消毒しましょう
- 床、壁は通常の清掃で構いませんが、床に汚水がこぼれた場合などは、消毒用エタノール等清拭消毒しましょう
- 消毒作業中は、必ず換気扇をONにしましょう
- 汚物を流すときは、トイレの蓋をしめましょう

## チェック項目（談話室や共有スペースの消毒）



- 利用者や職員の手指が触れる箇所（テーブル、椅子、手すり、ドアノブ、照明等のスイッチ、リモコン、洗面台の蛇口等）やテーブルの亚克力板は、人の入れ替わりなどのタイミング毎に清拭消毒しましょう
- 手指がよく触れ、汚れのつきやすい場所（テーブルの端や椅子のひじかけ、リモコン等）の清拭消毒、特に高齢者は、指先を舐めてそのまま触ったりするので、念入りに消毒しましょう
- 床、壁は通常の清掃で構いませんが、何らかの理由で床を汚染してしまった場合などは清拭消毒しましょう

## チェック項目（入居室の消毒）



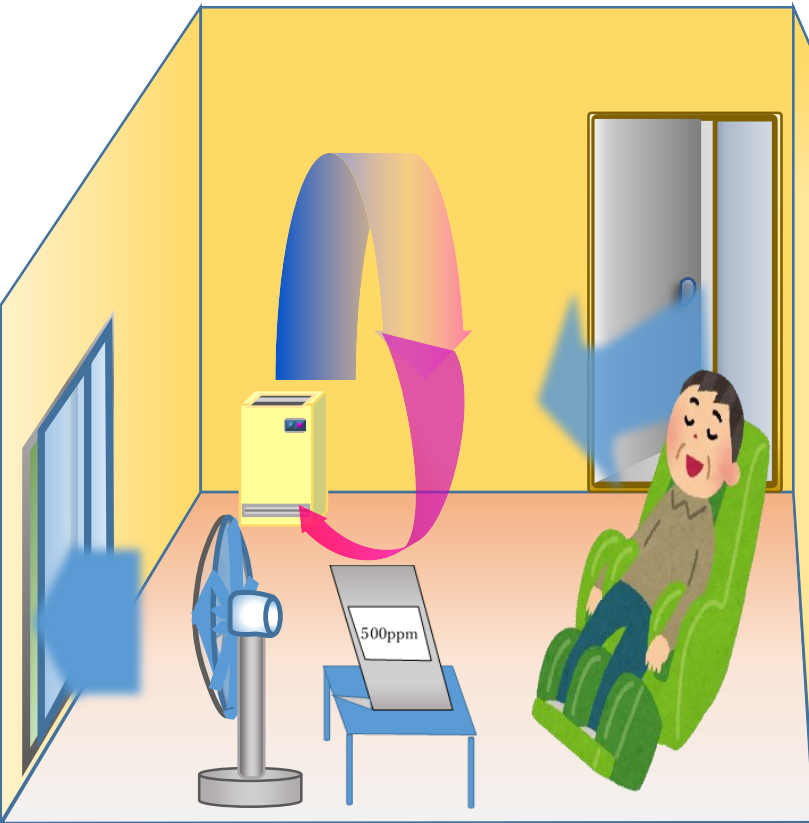
- 相部屋では、利用者や職員の手指が触れる箇所（手すり、照明等のスイッチ、洗面台の蛇口、仕切りカーテン等）は、食事等退室時のタイミングを利用し、1日に複数回、清拭消毒しましょう
- 個室では、職員の出入り等で手指が触れるドアノブなど、1日に複数回、清拭消毒しましょう

## チェック項目（その他の注意点）

- 一度使用したペーパータオルや布片は、ゴミ袋に封入後、口をしっかりと閉めておきましょう

★ノロウイルスの消毒については、消毒用エタノールでは十分な効果が得られないため、**必ず次亜塩素酸ナトリウム**で消毒をしましょう

チェック項目（さらによい換気とするための応用編）



- 換気不足を補うため、扇風機やサーキュレーターを使用し、空気のだよみが発生しないよう、外気を取り入れる風向きと扇風機等の風向きを一致させましょう  
また、空気清浄機（HEPAフィルタ付き）を使用することも有効です
- CO<sub>2</sub>センサーを使用し、室内濃度が1000ppm以下を確認しましょう（例：測定器の位置は、ドア・窓・換気口から離れた場所で人から少なくとも50cm程度離れたところに設置）



換気方法や消毒について、ご不明な点や具体的にお知りになりたいことなどのご相談がありましたら、大阪府茨木保健所 生活衛生室衛生課まで、お気軽にお問合せください

現地での空気環境測定器を用いた測定や、改善方法に関する助言や提案に応じさせていただきます



【連絡先】

大阪府茨木保健所 生活衛生室衛生課 （環境衛生担当）

〒567-8585 茨木市大住町8-11 電話 072-620-6706